

北九州革新懇ニュース

平和・民主・革新の日本をめざす北九州の会
 〒803-0817 北九州市小倉北区田町13-21 田町ビル3F
 TEL093-592-5000 Fax093-571-4346
 E-mail k-kakushinkon@ace.ocn.ne.jp

全国革新懇「三つの共同目標」

1. 日本の経済を国民本位に転換し、暮らしが豊かになる日本をめざします。
2. 日本国憲法を生かし、自由と人権・民主主義が発展する日本をめざします。
3. 日米安保条約をなくし、非核・非同盟・中立の平和な日本をめざします。

小倉南革新懇第8回総会開き、38名が参加

小倉南革新懇事務局長 黒坂 佳男

2018年度の小倉南革新懇第8回総会が6月16日(土)14時から、小倉南生涯学習センターで開かれました。当日は多くの団体との学習会と重なり、参加が心配されましたが忙しい中38名の方が参加してくれました。司会は渡辺末子さんが行い、荒牧啓一代表世話人が開会挨拶を行いました。荒牧弁護士は「新潟知事選で市民と野党の共同候補の池田千賀子氏の奮闘、沖縄嘉手納基地所属のF15戦闘機の墜落事故、さらに安倍政権は森友、加計問題、イラク日報の隠ぺい、改ざんなど日本は民主主義国家なのかと疑いたくなる。そのような中で憲法9条改憲は許されない。国民世論のたたかいで安倍政治を退陣させるために頑張りましょう」と述べました。来賓の竹下秀俊福岡県革新懇事務局長が「市民と野党の共闘」で院内集会などが拮がり、県の集会には立憲、社民と共同で闘っている。3年前までは考えられないことでした。自公政権に代わる、新しい野党連合が出来れば、県・市をどう変えていくか問題提起を行うことも必要。また7月16日に行われる全国革新懇事務室長の乾友行氏の講演、地域革新懇の交流会の参加を訴えました。柳井誠市議、藤沢加代市議が6月議会の報告と7ヶ月後の北九州市長選、10ヶ月後の県議選に向け、高瀬菜穂子県議の再選をみなさんと共に頑張ることを訴えました。高瀬菜穂子県議は米朝会談に触れ、戦争終結の方向へ大きな変化が生まれつつある中、世界から見放され、いまだに存続している安倍政権に怒りを感じる。国民運動を盛り上げ、



来年の北九州市長選、県知事選、参院選で躍進し、4期目に望む決意を述べ、19日には県議会で8分間の質問、県職員の着服(木曜会、38団体、42人)問題を取り上げ、知事、県警、司法や労働局長、自衛隊などが加わっていたことを取り上げる。今後は市議と一緒に頑張りたいと報告しました。引き続き2017年度の活動報告を黒坂事務局長が行い、3か月に1回の学習会や300万署名の取り組みなど北九州革新懇との共同行動について述べ、篠田事務局員から会計報告が行われました。2018年度の活動方針、及び予算案が全員の拍手で承認されました。その後、新役員が紹介され、荒牧啓一世話人代表が「安倍改憲 NO! 3000万署名」の取り組みなど「今年度もみんなで力を合わせ革新懇運動を前進させましょう」と決意を述べました。

「安倍9条改憲NO!八幡市民アクション」第6回世話人会の報告

八幡西革新懇 池村 好順

(1)はじめに

先日(18日)、定例の世話人会が開かれました。第6回目になりますが、この世話人会で、この間の「八幡市民アクション」の取り組みの総括的な報告がなされました。取り組みのなかで感じたこと、気が付いたこと、疑問に思ったこと、改善すべきこと等、参加した世話人による積極的な意見交換がなされました。今後の取り組みの「教訓」がありそうなので、この世話人会の内容をまとめてみることにしました。



(2) 全体的な「八幡市民アクション」の取り組みの結果と経過

●「八幡市民アクション」は準備会の時期を含め、2017年9月19日以降から本格的な宣伝・署名行動(黒崎駅行動)を開始しました。18年6月までの取り組みをまとめて、嶋代表世話人が報告しました。

♣この時期を通じての参加者は、394人になりました。署名数の合計は883筆! 改めて継続してきた取り組みの「重み」を感じています。

(※署名はそれぞれの団体・個人が持ち帰ってもらい、「八幡市民アクション」としては署名数・参加者数の集約を中心に行いました)

●特に、第一次集約日(5月3日)を前にして、「全国市民アクション」からの「全国一斉街宣・

署名週間」の訴えに呼応して、八幡の地でも1週間通して(5月24日～30日)の集中宣伝行動に取り組んだことは、意義のあることだったと思います。いつもは黒崎駅前広場でのリレートーク、チラシ配り、署名活動が定例ですが、この「週間」のなかで、初めて黒崎商店街・アーケードをまわる宣伝を行いました。取り組みの初日には、世話人のK氏が民商の宣伝カーを借りて地域での訴えにも取り組みました。今までにない取り組みです。

(3) 会議の後半—「これまで取り組みの感想や意見交換!」

色々な面からの発言がありましたが、世話人の発言をまとめてみると、次のような項目になるのではと思います。

〈その1〉「アピールの仕方—もっと工夫することが大切ではないか」

♣「世話人の主な発言」

●「今までのノボリ・プラカードもいいが、もっと人目をひく『目立つもの』にした方がいいのでは。新婦人の『手作り』横断幕など、それぞれの団体が持っている旗などを持ってくるなど。それぞれが「手作りのもの」を使っても!」

●「若者、高校生などに読んでもらえるような資料が必要では。内容が良くても、文字ばかりだと読んでもらえない。『櫻井よしこチラシ』は読みやすい!これに対抗するチラシを考えなくて」

●「『安倍改憲9条NO!』という言い方は、かなり伝わりにくいのでは。憲法9条をよく知らない人、関心のない人も意外に多い。わかりやすく伝わりやすい表現を工夫しないと」

●「チラシを受け取ってくれる人が少ない。関心のない人が多いのか、受け取ってもらう工夫が」

♣『その2』-「取り組みのなかでの人々の反応！」

- 「予備校生は引いてしまう。頭がいっぱい。本当は考えなくてはと思っているが、そうできない。若者に向けてもどうアプローチがいいのか、できるのか。若者の多くが『安倍支持』の傾向があるのでは」
- 「この前高校生のグループに署名を頼んだ。でも、よくわかっていない。こちらも慣れていないので、どう説明したらいいのか戸惑いもある」
- 「年配の人から、『憲法9条、それは何?!』と聞かれた。若い人はネット情報で『南京虐殺はなかった』、『戦争になったら行きます』とも言う。戦争がどんなにひどいものかわかっていない」
- 「若い人には、『安倍9条NO!』は、わかりにくいのでは。『戦争をしない署名よ!』という、『戦争はイヤ!』と署名をしてくれた。『戦争』という言葉を使った方が・・・」
- 「商店街ではチェーン店の人は署名をしてくれない。上の許可がないと。チラシを配っても、50人、100人に一人ぐらいしか受けとってくれない。なぜ受け取らないのか分析をする必要があるのでは」

(4) 今後の行動について

① 嶋代表世話人から、新たな取り組みの提起がありました。「地域に入って、署名を集めては！」—いくつか意見が出て、「八幡地域内で、地域廻りの取り組みが

どんなふうに取り組まれているか、情報を集めて次回論議をする」ことになりました。

② 「読みやすい・見やすいチラシ」について、次回検討をします。それぞれ「これはいい」というものを持ち寄り、集中的に話し合います。

(5) まとめ

☆ 第6回世話人会では、世話人の経験のなかで、具体的な感想、疑問、意見が率直に出されました。今後の取り組みに生かすべき改善点と教訓が明らかになり、有意義な世話人会になったと思います。「読みやすいチラシ」とは、「効果的なアピール」とは、今後考える課題だと思います。個人的には、「なぜチラシを受け取らないのか、署名をしたがらないのか—分析をする必要があるのでは」という意見は、とても重要だと感じます。ここから、幾つかの教訓が引き出されるかもしれません。たたかいは、これからが正念場! 「八幡市民アクション」としても、世話人会で意見交換をしながら粘り強く取り組んでいきたいと思えます。

☆ 会議の最後に、嶋代表世話人から1つの提案がありました。「『八幡市民アクション』として、今後の奮闘を誓い、全員で記念撮影を!」

—みなさん、なかなか良い表情です!

戸畑区で3000万人署名の”地域ローラー作戦”

戸畑革新懇 青木 信恭

「アベ政治ノー・平和のための戸畑行動委員会」は 6月8日(金)午後5時15分、戸畑けんわ病院に集合して9条改憲 NO! 3000万人署名の“地域ローラー作戦”に取り組みました。参加者は、けんわ病院、新婦人、民商、年金者組合、共産党、革新懇から14名。行動は5時半から6時半までの1時間、2人一組の7組がそれぞれ天神1、2丁目、小芝1丁目、西大谷1丁目の各区画を分担して各戸軒並み訪問です。この地域は、商店街、戸建ての住宅、マンションの混在してい

る戸畑区の中心に位置する所。行動の前に打ち合わせたことは、訪問先のインターフォンでこちらの身分と用件が分かるように「けんわ病院のものです。署名のお願いに伺いました」「日本共産党です。署名のお願いです」とはっきり名乗ること。

平日の夕刻1時間の行動で集まった署名は合計59筆でした。署名に応じてくれたのは酒屋、自転車店の店主、マンションの住人、夕食準備中の主婦、一人暮らしの高齢者、仕事から帰っ

たばかりと思われるサラリーマンなどでした。訪問のうち約半数は不在、在宅でも「いま来客中ですから」「うちは署名はどこもお断りしています」「すみません今手が離せません」と玄関が開かない家もありました。このなかで、署名に応じた人の口から出たのは「安倍さんは早く辞めてもらいたい」という言葉でした。



インタビュー集

「時代を拓くあなたへ」を多くの方に

「全国革新懇ニュース」インタビューで語られた“時の声”、ここに結集。2013年11月号～2018年5月号までのインタビューや寄稿をまとめたものを新日本出版社から出版しました。(46判並製240頁 頒価1500+税120円、送料別途)

『佐高信、鳩山友紀夫、吉原毅、香山リカ、前川喜平、廣渡清吾、津田大介、室井佑月、望月衣塑子、中島京子、リラン・バクレー、青木理、岡歩美、富田詢一、山田火砂子、片木淳、藤田孝典、藤原辰史、池田香代子【寄稿】、佐藤学、水野スウ、田原総一郎、阪田雅裕、中野晃一、枝元なほみ、薬師院仁志、山口二郎、諏訪原健【寄稿】、金子兜太、西郷南海子、福山真劫、堤未果、坪井直、小林節、鷹巣直美・竹内康代、中島岳志、内田聖子、丹羽宇一郎、伊東光晴、三上智恵、高橋克彦、菅原文太、菅原文子【寄稿】、池田恵理子、仲里利信、斎藤貴男、日比野敏陽、内田樹、ミサオ・レッドウルフの各氏各分野の重鎮や新しい運動の担い手50人による、文字通り重みある卓見や、さわやかなメッセージを収録。政治・社会についての鋭い警句、よりよい日本へ斬新な提言や構想など、〈安倍政権の時代〉と格闘する知と情と力が生み出した、生命力を宿した「あなたへの伝言」です』

インタビュー集 時代を拓く あなたへ 50人の伝言

全国革新懇編



新日本出版社

定価[本体1500円](税別)

■お申込み

mail zenkoku@kakushinkon.org

FAX 03-3470-1185

平和・民主・革新の日本をめざす 全国の会(全国革新懇)

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-7-8 千駄ヶ谷尾澤ビル1階